

## 目次

1 開会の挨拶 .....	3
成田 友代 東京都福祉保健局技監	
2 献血功労者厚生労働大臣表彰・感謝状伝達式 .....	4
東京都知事感謝状贈呈式	
3 献血セミナー .....	5
～献血の現状と課題～	
田中 真人 東京都赤十字血液センター	
4 基調講演 .....	11
大量出血症例に対する輸血療法としての新規血液製剤の動向 .....	11
座長 牧野 茂義 東京都赤十字血液センター	
演者 宮田 茂樹 日本赤十字社 中央血液研究所	
5 輸血療法Q&A .....	20
座長 安藤 純 順天堂大学医学部 細胞療法・輸血学	
奥山 美樹 東京都立駒込病院 輸血・細胞治療科	
(1) 臨床検査技師へのタスクシフト・シェアについて .....	20
演者 奥田 誠 東邦大学医療センター大森病院 輸血部	
(2) 『血液製剤等に係る遡及調査ガイドライン』の一部改正について .....	30
演者 飴谷 利江子 東京都赤十字血液センター	
6 輸血療法シンポジウム .....	37
テーマ：周術期輸血の管理	
座長 佐藤 智彦 東京慈恵会医科大学附属病院 輸血・細胞治療部	
田中 朝志 東京医科大学八王子医療センター 輸血部	
オーバービュー .....	38
藤田 浩 東京都立墨東病院 輸血科	
(1) 周術期のPatient Blood Management -術前貧血対策を中心に- .....	41
池田 敏之 東京大学医学部附属病院 輸血部	
(2) 周術期輸血の看護 .....	51
中野 恵美 東京都立墨東病院 看護部	
(3) 周術期における止血戦略 .....	60
木田 康太郎 東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座	
ディスカッション(総合討論) .....	72
7 閉会の挨拶 .....	75
藤田 浩 東京都輸血療法研究会世話人代表	



# 1 開会の挨拶

東京都福祉保健局技監  
成 田 友 代

東京都福祉保健局技監の成田でございます。

本日は、御来賓の皆様をはじめ、御来場の皆様におかれましては、御多忙のところ「令和四年度献血功労者厚生労働大臣表彰・感謝状伝達式及び東京都知事感謝状贈呈式」に御出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

開催に当たりまして、御挨拶申し上げます。

本年度は、厚生労働大臣表彰状を一団体、同感謝状を四団体、また、東京都知事感謝状を個人の方三名と、三団体の方々が受賞されました。受賞された皆様には心よりお祝いを申し上げます。おめでとうございます。

本日表示彰をお受けになられました皆様方には、職場や学校あるいは地域で、長年にわたり献血活動に御協力いただいております。東京都の血液事業は、こうした方々の尊い善意に支えられて成り立っていることはいままでもございません。

ここに改めて東京都を代表して、受賞されました皆様のこれまでの御功績に対し、深く敬意を表しますとともに、日頃から献血に御協力いただいている方々、関係者の皆様の御尽力に心から感謝を申し上げます。

さて、輸血医療に欠かすことができない献血でございますが、昨年度、都内では、延べ五十六万人の方々に御協力を頂き、こうした善意による貴重な血液は、輸血を必要とする患者さんに滞りなく届けられたと聞いております。

これも、本日表示彰を受けられる皆様方をはじめ、都民一人一人の献血への御理解、御協力によるものでございます。

都内には、高度先進医療を担う病院が多く、また、少子高齢化社会の進展も踏まえると、将来の献血を支える若い世代の御理解と積極的な献血への御参加が強く求められております。

そのため、東京都では、厚生労働省や日本赤十字社、各関係機関の皆様と連携し、若年層を中心に広く都民に献血への御理解と御協力を呼びかけるなど、普及啓発活動に努めております。

今後とも、東京都の血液事業への一層の御理解を賜り、引き続き、献血の推進に積極的な御協力をお願い申し上げます。

結びに、本日表示彰をお受けになられる皆様に重ねてお祝いと感謝を申し上げますとともに、御列席の皆様の御健勝とさらなる御活躍をお祈り申し上げまして、私からの御挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

# 2

## 献血功労者厚生労働大臣表彰・感謝状伝達式 東京都知事感謝状贈呈式

厚生労働大臣表彰状受賞者（1団体）

（敬称略）

糀谷地区連合婦人会
-----------

厚生労働大臣感謝状受賞者（4団体）

（敬称略）

鹿島建設株式会社
----------

東邦大学医療センター 大森病院
-----------------

SMK 株式会社
----------

興和株式会社 東京創薬研究所
----------------

東京都知事感謝状受賞者（3個人、3団体）

（敬称略）

渡辺 礼子
-------

坂口 貞義
-------

巨理 鐵哉
-------

カインズ 青梅インター店
--------------

小金井市赤十字奉仕団
------------

株式会社ジョイフル本田 瑞穂店
-----------------

# 3

## 献血セミナー

### 献血の現状と課題

東京都赤十字血液センター  
田中 真人

皆さん、こんばんは。ただ今ご紹介いただきました、私は東京都赤十字血液センターで献血の推進と、皆さまから頂きました血液を医療機関にお届けする供給の部門を担当しております田中と申します。どうぞよろしくお願いたします。

#### 【スライド1】

献血の現状と課題

2022年11月28日

日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

東京都赤十字血液センター  
事業推進一部長 田中 真人

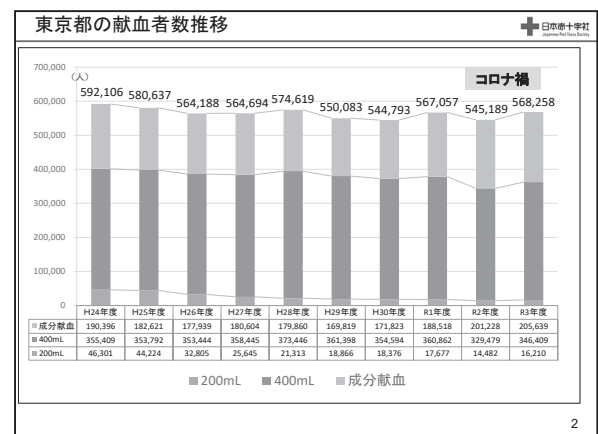
まず、献血者数の推移です。平成24年から平成30年度に向けて微増であった献血者数は、令和元年度に上昇、そして、コロナ禍で輸血の使用量に影響があった令和2年度は若干減少したものの、令和3年度は再び献血者が増加しております。

昨年度に引き続き、血漿分画製剤用原料血漿が増加していること、また、赤血球製剤

の需要が高まっていることから、多くの方の献血の協力が必要となっております。

なお、東京都内の新型コロナウイルスの感染率が他府県に比べて高いこと、また、まん延防止等重点措置における企業等の献血会中止も多いことから、全血献血は東京都内で確保すべき量には届かず、今年度も全国から支援を頂いて安定供給を図っているところです。

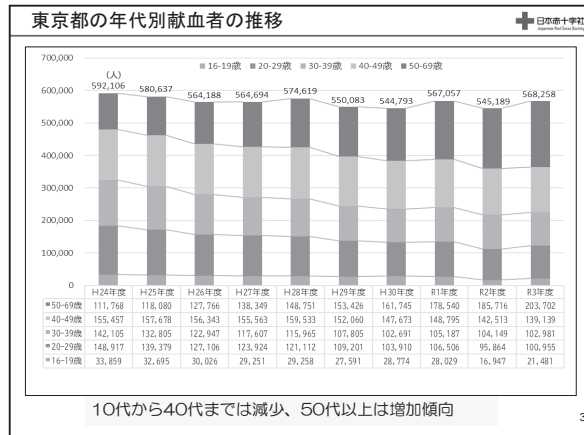
#### 【スライド2】



【スライド3】

こちらは、都内の献血者の年代別の推移です。

ご覧いただいておりますように、10代から40代までの献血者が減少、逆に50代以上の方が増加しています。先ほど来、お話がありましたとおり、これからは若年層の方々、若い方々の献血の協力が必要だという状況です。



【スライド4】

ちょっと小さくて見づらいのですが、こちらが東京都の職業別の献血者数と年代別の献血者数の推移です。令和元年からの増減、令和3年度までの増減を入れております。ご覧のとおり、学校の献血会場あるいは団体・企業のテレワーク等で、会社員の方々、大学生が大きく減っております。学校、企業、献血会場の減少の影響により、40歳以下の献血者はコロナ禍以前よりも大幅に減少している状況でございます。

	公務員	会社員	高校生	大学生	その他学生	主婦	自営業	その他	合計
令和元年度	55,177	348,224	8,888	44,414	7,078	27,887	19,141	58,217	587,057
令和2年度	55,547	340,298	8,240	27,880	5,888	29,558	20,737	67,565	545,189
令和3年度	56,471	351,292	8,838	35,891	6,107	30,832	21,348	57,841	588,258
増減額 (令和2年度-令和元年度)	370	-7,926	-728	-17,084	-1,210	1,719	1,596	1,348	-21,868
増減額 (令和3年度-令和2年度)	924	10,996	698	8,651	289	1,076	611	76	28,089
増減額 (令和3年度-令和元年度)	1,294	3,068	-138	-8,483	-971	2,785	2,207	1,424	1,201

「学校」献血会場減少の影響により、学生全体の献血者数はコロナ禍以前より大幅に減少

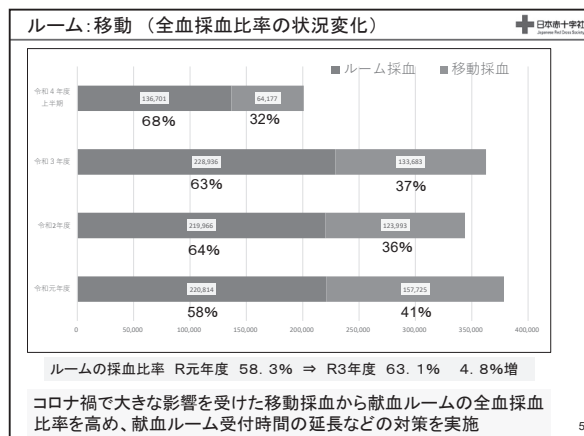
	16-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	合計
令和元年度	28,029	106,505	105,188	148,702	185,778	42,785	587,057
令和2年度	18,947	95,864	104,149	142,513	139,474	48,242	545,189
令和3年度	21,481	100,855	102,881	139,139	160,986	52,738	588,258
増減額 (令和2年度-令和元年度)	-11,082	-10,641	-1,039	-6,279	3,898	3,477	-21,868
増減額 (令和3年度-令和2年度)	4,534	5,091	-1,188	-3,374	11,492	6,494	23,089
増減額 (令和3年度-令和元年度)	-6,548	-5,550	-2,207	-9,853	15,188	9,971	1,201

「学校」「企業」献血会場減少の影響により、40代以下の献血者数はコロナ禍以前より減少

【スライド5】

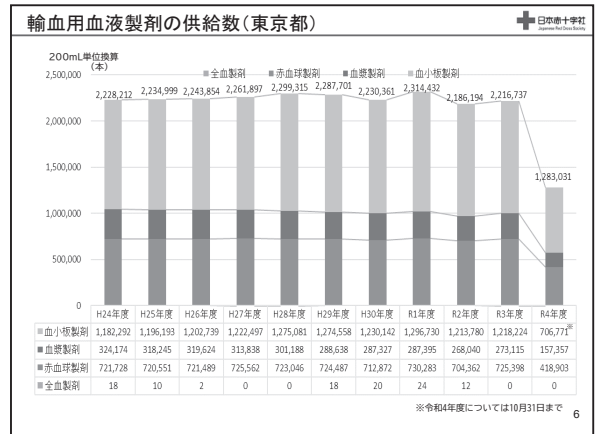
そのため、東京都赤十字血液センターではどのような対策を取ったのかですが、今まで移動のバスあるいはオープン献血で、このような会場をお借りしまして出張採血を行っておりましたが、なかなか実施が難しいということで、都内にある13の献血ルームを中心に献血者にご来場いただくために、献血ルーム受付時間を延長して対応しています。その結果、徐々に徐々に献血ルームでの献血者の比率が高くなっております。

今年度にも、上半期ですが、68%は献血ルームでご協力を頂いております。



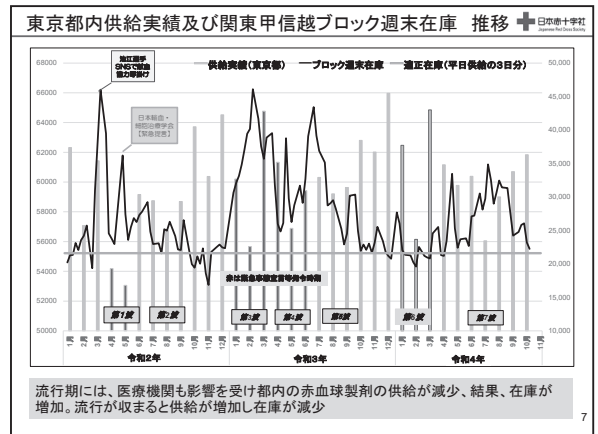
【スライド6】

続きまして、こちら輸血用血液製剤の供給数です。ご覧のとおり、令和2年度はコロナの影響等で医療機関も大きな影響を受けたことで、若干減少しておりますが、本年度は、ほぼほぼ昨年、一昨年同様の供給量に戻ってきています。



【スライド7】

続きまして、こちらは都内の供給の実績および関東甲信越ブロックの週末、金曜日の在庫の推移です。令和2年度、高くなる折れ線が示すのは在庫数です。真ん中に横棒になっているところは、いわゆる適正在庫です。私ども血液センターでは、平日の供給の3日分を適正在庫と設定して安定供給に資するべく、適正在庫を何とか確保するために日夜、献血推進に励んでおります。

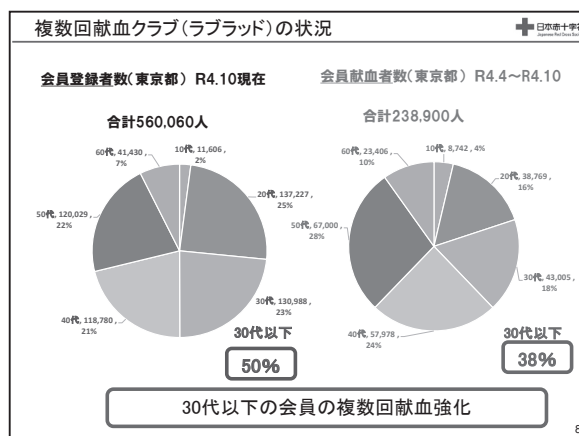


ですが、ご覧のグラフのコロナの流行期、第7波までの供給の実績と在庫状況を見ていただくと流行が起こると供給が減り、そして在庫が上がる。それが過ぎると、供給が伸びて在庫が減っていくというような形で推移しています。

現在11月になりましたが、第7波が終わり、医療機関でもそれまで控えていたオペ等が再開されるということで、供給量が伸びています。その代わり在庫が減っている状況です。

【スライド8】

私たち血液センターでは、このコロナ禍を乗り切るために、複数回献血クラブ、「ラブラッド」と申しておりますが、今日の資料でもチラシを入れさせていただいております。複数回献血クラブと申しております。献血にご協力いただける方にご登録いただいて、血液センターのほうから「献血ご協力いただけませんか」というようなメール、電話等の協力依頼を發出しております。その会員の登録数です。

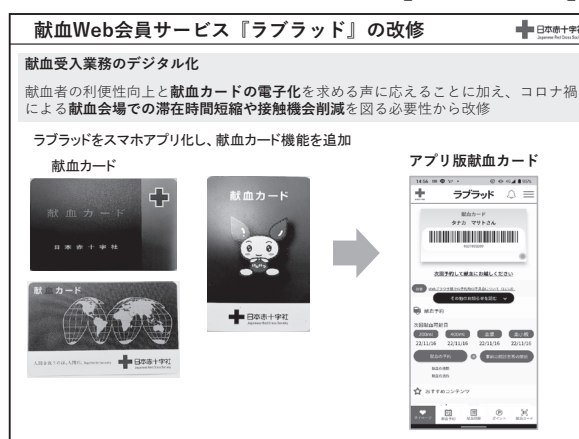


東京都内では、56万人以上のご協力を頂いております。年齢構成で見ていただくと、30代以下が50%を占めています。

しかしながら、右側のグラフですが、こちらは会員の献血者数です。逆に、30代以下は38%で、献血にご協力いただいている方は、50歳以上の方々が多いことです。こちらを何とかしなければいけない。これが課題です。

【スライド9】

そのために、私ども日本赤十字社では、献血のWeb会員サービス「ラブラッド」を改修いたしました。今年の9月28日から実運用に入っております。今までは、献血にご協力いただくと献血カードという、今3種類ありますが、こちらをスマートフォンの中にアプリを入れていただくことによって、カードレスになりました。



こちらは、ずっと以前から多くの献血者から「献血カード、何とかできないの」というご要望を頂いておりました。献血カードの電子化と、コロナ感染防止対策として献血会場での3密を防ぐために、滞在時間の短縮や接触機会の削減を図る目的で改修を行いました。



【スライド10】

その改修内容はこちらです。ラブラッドにご登録いただいて献血のご予約を頂ければ、事前に23項目の質問、問診項目を献血会場に来場される前に自分のスマートフォンで回答いただくことができます。

また、こちら東京都センターだけが運用しておりますが、当日の予約の3時間前まで受け入れることが可能となりました。そして、

当日、前日の睡眠時間と直近の食事の時間等をラブラッドで入力をしていただくことでかなり献血会場での滞在時間が短くなりました。

また、初回献血者あるいはラブラッドの会員になっていない方々にも、予約や事前のWebの問診回答ができるような機能を追加いたしました。

今回の機能改修の中で一番大きいのは、若年層の方々に献血に関して興味を持っていただくということです。献血は16歳になってからということですが、献血可能年齢未満の中学生等に献血セミナーを実施して登録いただき、16歳の誕生日を迎えたら献血できますよというように初回献血の推進を図っております。

+ 日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

**献血Web会員サービス『ラブラッド』の改修**

**事前Web問診回答**  
献血来所前に、ラブラッドから問診回答を入力

**当日予約**  
各予約枠の3時間前まで予約の登録やキャンセルが可能

**献血申込者照会画面の項目の事前入力**  
受付でお聞きしている項目(食事時間・睡眠時間等)について、ラブラッドでの事前入力が可能

**初回献血者、非会員による予約や事前Web問診回答**  
会員登録せずに予約機能を利用することが可能となり、初回献血者やラブラッド非会員による予約や事前問診回答が可能

**プレ会員制度**  
献血可能年齢未満の若年層を主な対象とした会員制情報提供サービス  
初回献血の推進 献血セミナー

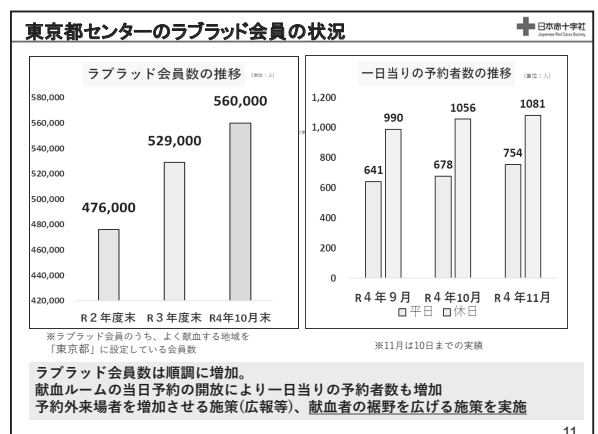
10

【スライド11】

こちらがラブラッドの会員の状況です。令和2年から今年の10月までの推移です。現在56万人で、令和3年度末から会員数は増えております。

右側のグラフは、1日当たりの献血予約者の推移です。これもラブラッドの機能を活用していただいて、今まで電話あるいはメールで予約をしておられた方々が、この機能を利用されております。

ラブラッドの会員数は順調に増加しております。献血ルームの当日予約の開放により、1日当たりの予約者数も増加しております。予約外来者を増加させる施策、広報等、予約者に対するインセンティブを設けるキャンペーンを実施することで、献血者の裾野を広げることを進めていきたいと考えております。



【スライド12】

続きまして、コロナ禍における令和4年度の対応と今後の課題です。第8波が危惧されている中、安全な献血会場を運営することが第一の課題になります。

また、予約の推進、特に若年層の方々の協力を拡大しようと考えております。

また、企業・団体等がテレワーク等で中止になっております。その中止会場への対応で、な

るべく献血者の方々がお集まりいただきやすいような、大規模なショッピングセンター等への配車を進めております。

献血の裾野を広げるための献血セミナーの実施も、今までは私どもの職員が学校等にお邪魔して講義形式で行ってございましたけれども、これをオンラインでセミナーが実施できるようにしております。

**コロナ禍における令和4年度の対応と今後の課題**

- 安全な献血会場の運営
  - 職員の体温測定、手指消毒の徹底
  - 献血会場の入口で体温測定、献血会場内の換気
  - 予約の推進(献血会場の混雑回避)
- 予約の推進
  - 献血Web会員サービス「ラブラッド」への登録を促進
  - 同サービスを活用した献血予約の推進 特に若年層の協力拡大
- 中止会場への対応
  - 社内・学内ポータル等の媒体を活用し、献血ルーム等への誘導
  - 献血実施可能な企業・団体に対しては、実施回数の増加を依頼
  - 居住地を考慮した地域の方を対象とした振替先献血会場の設置
  - 地域の方を対象としたメール・ハガキ・電話による振替先献血会場への誘導
  - 新たな献血団体の開拓
  - 年末年始の献血ルームの臨時開所
- 献血セミナーへの対応
  - オンラインによるセミナーが実施可能な環境整備 献血セミナー実施拡大

12

【スライド13】

現在、「めぐる献血プロジェクト」というキャンペーンを全国的に展開しております。血液製剤を医療機関に安定的に供給し続けるために、新たに2022年の9月に発足したプロジェクトです。

イメージキャラクターとして、今人気の女優さん、俳優さんを起用して、一人一人の献血協力が日本中を巡り、全ての患者さんに安定的に血液製剤を届けるために、そして献血にご協力

いただいた皆さんに感謝の気持ちをお届けすること、人と人との助け合いがいつまでも巡り続ける、そんな世界をつないでいく活動ということで全国的に展開をしております。

**「めぐる献血プロジェクト」**

血液製剤を医療機関へ安定的に供給し続けるために新たに2022年9月に発足したプロジェクト

イメージキャラクター



めぐる献血 PROJECT

今田美桜さん



めぐる献血 PROJECT

高杉真由さん

一人ひとりの献血協力が日本中をめぐり、すべての患者さんへ、安定的に血液製剤をとどけるために。そして、献血にご協力いただいたみなさんへ感謝の気持ちをとどけるために。人と人との助け合いがいつまでもめぐりつづける。そんな世界を繋いでいく活動です。

13

【スライド14】

この場をお借りしまして、皆さまの変わらぬ献血へのご協力、ご理解、よろしく願いいたします。ご清聴、どうもありがとうございました。

**ご清聴ありがとうございました**



献血キャラクター  
けんけんちゃん

14